

一般社団法人 日本応用地質学会
令和6年度・2024 年度
第4回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日 時 : 2024 年 11 月 29 日 (金) 15:00~17:30

場 所 : 国際航業株式会社 本社会議室、Zoom を用いた Web 会議 (併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、鎌田委員、崎田委員、野々村委員、濱田委員、水野委員、
百瀬委員、山田幹事

委任状提出: 越谷委員、昆委員、百嶋委員、安田委員、山崎委員

陪席: 茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2024 年 9 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・YEG に関する IAEG 事務局からのメール送信先に、YEG 担当を加えてもらうよう事務局へ依頼する。
- ・AEG 対応関連での作成済みデーター式(ポスター、パンフレット)について、JSEG サーバ内で共有できるように手配する。
- ・JSEG ポスターについては、ARC15(2025、ネパール)で掲示できるよう調整を進める。
- ・2024 年研究発表会特別セッションでの招待講演者への謝金について、発表者への支払いを進める。

2. 理事会報告

- ・次回以降は、委員長が欠席となる場合には、国際委員会の誰かが必ず代理出席する。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG 2024 Council Meeting 関連

- ・参加報告について、学会誌 2 月号掲載へ向けて原稿チェックを進める。

2) IAEG Newsletter 2024 No.4 関連

- ・No.4 投稿へ向けて、引き続き素材(Ranjan 氏講演、研究発表会など)の収集準備を進める。

3) ARC16 (2027) 関連

- ・現時点での検討状況について説明がなされた。
- ・実行委員会のコアメンバーとなることを想定し、国際委員会内部の WG のメンバーについても選定しておく必要がある。
- ・ARC16 に合わせて Council Meeting が開催されるかどうかは、会議場所の検討においても重要な点であり、現時点では招致を前提にする必要があると思われる。

4) ARC15 (2025) 関連

- ・現時点での検討状況について説明がなされた。
- ・International Advisory Member になって頂いた先生方のサポート役として、国際委員会から4名で対応する。サポート役は、海外調査団の企画(Ex-6 の運営サポートを含む)を担当する。
- ・ARC15 への参加は、ARC16 に向けた盛り上げや参加者の募集、会議運営の視察といった点で重要である。
- ・International Supporting Partners となることを受けて、JSEG として寄付を行うか(2017 年には 10 万円程度を寄付した)を理事会で確認する。

- ・JSEG 会員向けの開催周知(日本主催セッションあり、発表者&海外調査団参加者の募集、参加登録スタートなど)の対応を進める。
- ・ARC15対応を進める際には、NGS(Nepal Geological Society)への配慮も頭に置いておく。

5) 東アジア地域若手技術者交流会(2025.10 開催)に向けて

- ・現時点での検討状況について説明がなされた。
- ・韓国と台湾に対して、中国にも参加を呼び掛けたい旨をオフィシャルで事前に伝えておく必要がある。Japan NG 代表から文書を流してもらう方向で準備を進める。

6) 2025 Conference of Rock Mechanics and Engineering Geology (Taiwan) 関連

- ・台湾側からの参加要請が来ているため、詳細な開催情報や日本からの参加申込状況について確認を入れる。その際、上記 5 で中国にも参加を呼び掛けたい旨を加えて連絡する。

7) その他の海外イベントへの参加について

- ・2025年のIAEG Council Meeting(9/8-12、ナミビア): ARC16の広報活動(プレゼン、パンフ配布など)を行う必要あり。JSEG 会長とJapan NG 代表に参加可能かを相談する。
 - ・ARC15(11/27-29、ネパール)とEGCON2025(12/1-3、ニューデリー)の参加者をチェックする必要あり。
- 8) IAEG 若手会員の会費無料キャンペーン(39歳以下、2025年に限る)について
- ・来年1月にJSEG 若手会員へ周知(ARC15への参加も合わせて打診)する準備を進める。

(2) その他

1) Ranjan 先生 ウェビナー 関連

- ・Ranjan 先生ウェビナーのCPD 受講証明の発行準備を進める。

2) IAEG 戦略声明について

- ・翻訳案の確定後、学会 HP に掲載されているIAEG 戦略声明を更新する。

3) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・4月号の掲載に向けて、改めて担当委員に対応を要請しておく。
- ・この企画の締めとして委員長の記事を最後に掲載する。その後は、Facebook 等の SNS からの発信をメインに据える方向で検討を進める。

4) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

4. ホームページ関係

(1) 英語版 HP、日本語版 HP(2025年4月にリニューアル予定)

- ・掲載するコンテンツ案を検討する。

(2) 学会 Facebook

- ・今後は SNS からの発信をメインに据える方向で検討を進める。

5. その他

- ・次回委員会(令和6年度_第5回)は、令和7年1月に開催する方向で調整する。

以上